

社会参加委員会便り **NO.21**
 名古屋市高年大学「鯨城学園」学生協議会
 社会参加委員会
 (名古屋市中区栄1-23-13鯨城学園内)

今年度のボランティア活動も順次実施されております。今回は、クラス・クラブ、個人での自主的な独自ボランティア活動の様子を投稿していただきました。

◇「初めてのボランティア活動」

32期 園芸 関弓子

以前からボランティア活動に参加したいと思い、去年社会参加委員会に従事しました。高年大学鯨城学園のボランティア活動といえば、藤前干潟の清掃、堀川沿岸の清掃、鶴舞公園の清掃、そして翌年三月の名古屋ウィメンズマラソン大会です。それと去年から始まったフードドライブです。フードドライブとは、家庭の余った消費期限内の食品、乾麺、お菓子、カップ麺、缶詰等を提供する運動です。去年は藤前干潟、鶴舞公園はあいにく雨で中止となりました。只、年をまたいで三月初旬、2018年名古屋ウィメンズマラソン大会が実施されました。前月から名古屋学院大学での説明会に参加し、各エリア分け、ポールの数、コーンの数、細部に至るまで具体的な決め事がありました。前日に自分の持ち場の下見に行きますと、舗道の脇にきちんと備品が並べられていました。ちょうど私の持ち場はハーフ地点でしたので大勢の選手が集合する地点でもありました。あの有名な名古屋ウィメンズマラソン大会に参加できるとワクワクしたものでした。当日スタート30分前になって持ち場を守備する人数の変更が発生し、グループを三分割から二分割に変更せねばならず、頭がパニックになってしまいました。参加して下さったクラスの皆がお互いに声を掛け合って、立ち位置と時間を臨機応変に対応して下さり非常に助かりました。いったい説明会は何だったのかしらと思う程、現場は必至でした。自分の無力さを反省しました。ボランティアは、一人一人の協力によるものと実感し、皆に感謝しました。それと園芸クラスは、ボランティアとして毎年秋に収穫したさつまいも、里芋、人参等の野菜を、名古屋市内の養護施設、乳児院等、八か所位を、クラス委員長をはじめ数名が自力で園まで届け、園の方には喜ばれています。思いやりと力をおしまない事が大切だと実感しました。今後も何らかの形で、ボランティア活動に参加したいと思う次第です。各区の社会福祉協議会でボランティア活動を確認してみてください。そして是非一度参加してみてください。

◇ 鶴舞公園クリーンキャンペーンに参加して

33期 園芸 志水一也

10月6日(土)に鯨城会主催の「鶴舞公園クリーンキャンペーン」に参加しました。学園に入学して初めての社会参加活動です。当日はあまり天候がよくなく小雨の降るなか各区毎にグループに別れ、公園内を鯨城会の方と談笑しながら約一時間程かけ清掃をしました。公園内のゴミも少なく、思っていたよりもキレイでしたが、それでも多数の参加により大量のゴミを回収できました。今回は貴重な体験をすることができたことに感謝の気持ちです。これからも、社会参加活動には色々な参加の仕方がありますが、今の自分にできることから活動していきたいと思っています。



◇ 2018年秋の藤前干潟クリーン大作戦に参加して 33期 園芸 鬼頭鐘一

10月27日(土)約100名の鯨城生が「2018年秋の藤前干潟クリーン大作戦」に参加しました。小学校の遠足に出かけるときのような気分で33期の園芸専攻生7名と共に迎えのバスに乗り込みました。広大な藤前干潟のうち、私たちは藤前干潟活動センター周辺が活動範囲でした。高く重厚な堤防に登り、海側を眺めても当初ゴミはあまり目立ちませんでした。21号、24号台風のせいでゴミが別の場所に吹き寄せられた模様です。堤防上をしばらく行くと今度はプラスチックゴミが海岸を埋め尽くさんばかりになっているのが見えてきました。どんなに頑張ってもとても全部を回収できる量ではありません。それでも私たちは時間いっぱい汗水流して大量のゴミを回収しました。今回初めて鯨城学園の旗のもと、仲間と共に藤前干潟の清掃活動に参加し、微力ながら藤前干潟の保全、美化のお手伝いが出来たことをうれしく思いました。来年3月に行われる「ウィメンズマラソン」のボランティアにもぜひ参加したいと思っています。

◇ 鶴舞公園の清掃に参加して 33期 美術 二石清恵

当日は出発ギリギリまで雨なのか曇りなのかはっきりしない天気の中、鶴舞公園に向かいました。軍手をもらい、いよいよ掃除の持ち場に向かおうとした矢先にまた雨が降り出し、ちょっと意気消沈。それにしてもゴミがない！落ち葉、枯れ枝の類はあれど、いわゆるポイ捨てのゴミがないのです。日本人はこんなに公共の精神があったのかと感心しました。否、名古屋で有名な公園ですから日頃から公園担当のお掃除の方々がいっぱい清掃して下さっているのだらうと想像しております。感謝、感謝、感謝。一時間ほど無いゴミを一生懸命探して歩く貴重な体験(いつもはこれとは正反対の生活で、ゴミが目についても、今日のところはまあいいかという状況です。)をさせていただきました。

◇ 2018年秋の藤前干潟クリーン大作戦キャンペーン 33期 美術 藤原 勇

10月27日(土曜日)朝早くから心配された昨日の雨も上がり、鯨城学園33期生総数104名が送迎バス2台に分乗して藤前干潟へ向かいました。車内ではピクニック気分で車窓の風景や会話を楽しまつ情報交換で盛り上がりました。現地に到着後、清掃用具(ゴミ袋や軍手・ゴミバサミ)が参加者に配布され、指定現場に行き作業を開始しました。現地の数キロメートルの長い防波堤には漂着ゴミが一箇所に散乱しており、ゴミの種類は殆どがペットボトルの大小、次が発泡スチロール類や空き缶類、その他は木製品・プラスチック製品等の漂着ゴミです。集めたゴミ分量は、1トントラック2台分位有りました。作業終了後集合写真を撮り帰路に着きました。参加された皆様、それぞれ達成感を味わい、今年度藤前干潟クリーン大作戦キャンペーンのボランティア活動が無事

・ 3/10(日) 名古屋ウィメンズマラソンボランティア

